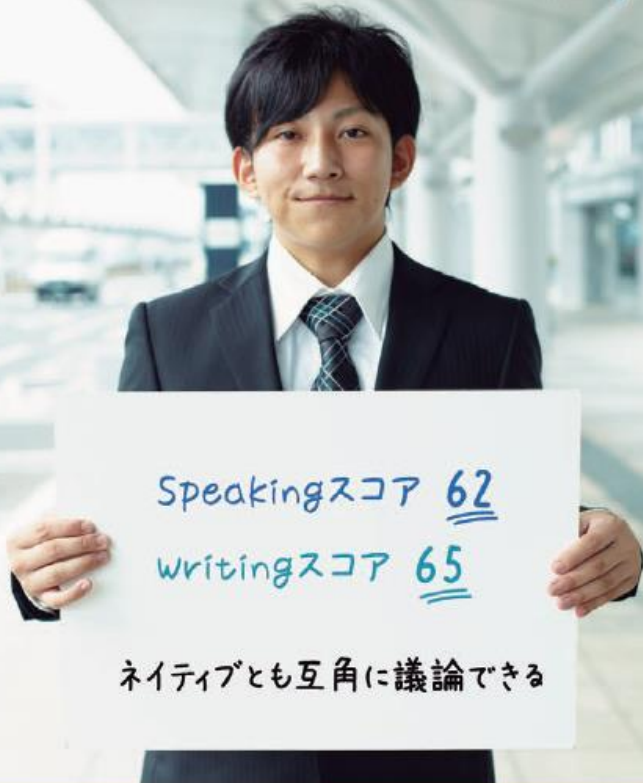


VERSANT S&W チャレンジ

スピーキング&ライティング



VERSANT S&Wチャレンジ受験速報

2019年5月

日本経済新聞社
人材教育事業局

partnership

NIKKEI

 Pearson

VERSANT S&Wチャレンジ 受験速報のポイント

応募者のTOEIC平均は825点！ライティングスコアも高い！

- ・スピーキングの総合スコア平均は45.0点、日本人平均より7点も高い！
- ・ライティングの総合スコア平均は52.5点、日本人平均より5点も高い！
- ・現時点で首位は大学生、S&Wともに世界で通用するスキルを発揮！
- ・日本のビジネスパーソンはライティングは得意だがスピーキングの「流暢さ」に課題！

日本経済新聞社は教育・出版の世界大手である英ピアソンの日本法人、ピアソン・ジャパンと共同で開催している全国テストキャンペーン「VERSANT S&Wチャレンジ」の受験結果について中間報告（速報値）をまとめました。

S&Wチャレンジは今年2月末から応募を受け付けています。日本経済新聞社は欧米のグローバル企業が採用するVERSANTのスピーキングテストについて2018年春から様々なキャンペーンを実施してきました。国内では金融大手など有力200社以上が採用してきたVERSANTは特にスピーキングテストのご利用が多かったのですが、最近ではライティングテストの導入も増えています。この2つの「S&W（スピーキング&ライティング）テスト」を活用されれば、英語コミュニケーション力の実力を把握することができます。それをご理解いただくために一般の方々に割安に受験してもらえる「S&Wチャレンジ」を開催しています。受験された応募者の方々のスコアを解説するレポートを作成しましたのでご参照ください。

VERSANTのスピーキングテストでは総合スコアに加え、「文章構文」「語彙」「流暢さ」「発音」という4つのサブスコアがあります。またライティングテストでも総合スコアと、「文法」「語彙」「文章構成」「言葉使いと文体」「文章理解」の5つのサブスコアがあります。いずれもスピーキング力とライティング力を高度な自動認識技術などを活用し、20点～80点まで1点刻みで客観的に採点しています。

こうしたサブスコアを細かく知ることによって、英語力アップのために最適な学習を進めることができます。

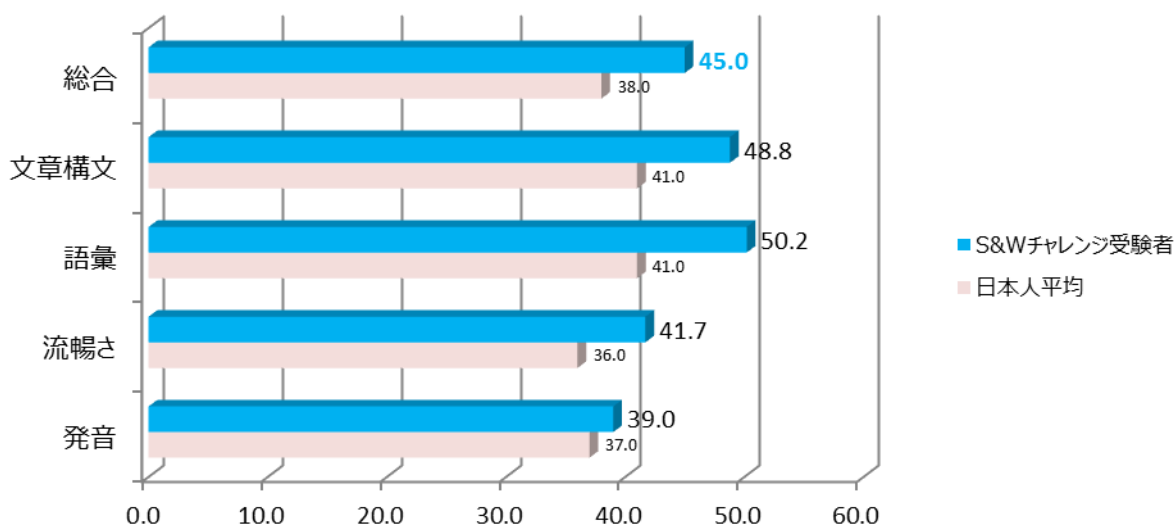


VERSANT S&Wチャレンジ スピーキングテストのポイント

「語彙」は得意だが、「流暢さ」「発音」が苦手

- ・総合スコア平均は45.0点。海外赴任の目安とされる47点に近い水準！
- ・リスニング力を示す「語彙」スコアは50.2点
- ・日本人が苦手な「流暢さ」と「発音」のスコアはそれぞれ41.7点、39.0点と苦戦
- ・TOEIC900点台の総合スコア平均は52.6点、800点台は44.5点

総合スコア・スキル別スコア



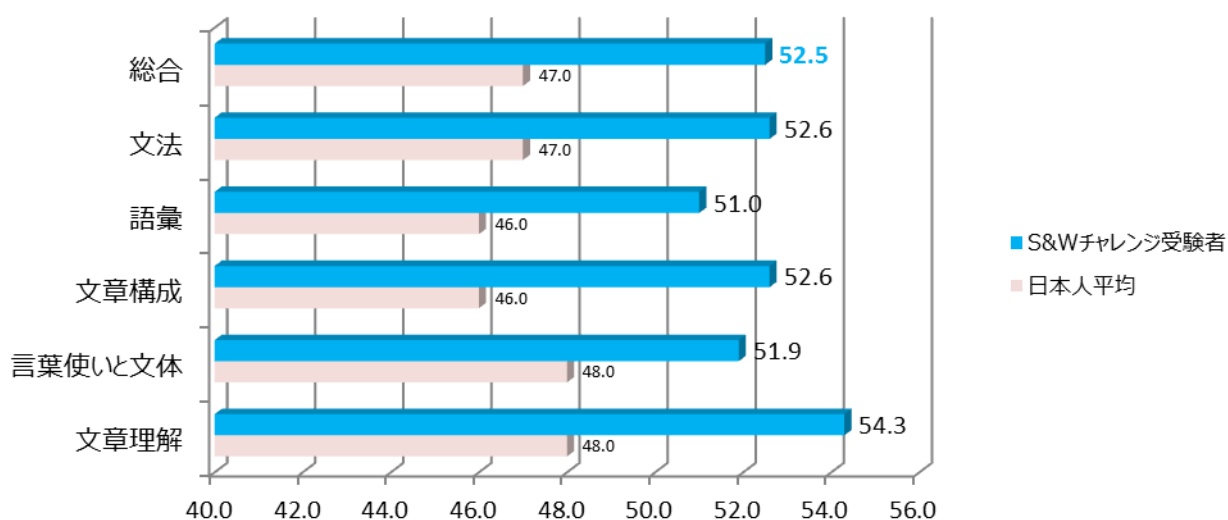
総合スコア	スキルの詳細
79～80点	ネイティブのような会話速度でも苦勞なく相手の話を理解し、話すことができる。
69～78点	自分の専門外の抽象的かつ複雑な話題に関する長い話も理解できる。ほとんど苦勞なく流暢かつ自然に自分の考えを表現できる。
58～68点	ほとんどのニュースや時事問題の番組の内容を理解できる。広範囲の話題について流暢で正確に話せる。
47～57点	日常生活や仕事に関連した簡単な事実を把握して理解できる。関心のある分野や専門分野に関しては多少の自信を持って話せる。
36～46点	はっきりと、ゆっくり話されていれば、ある程度の理解ができる。言い淀みも言い直しも目立つが、短い発言を駆使して理解してもらうことができる。
26～35点	非常にゆっくりとした速さで、明瞭に発音されていれば、理解できる。暗記した文を短く途切れ途切れに使える。
20～25点	ゆっくり直接話されれば、多少単語を理解できる。簡単な買い物のほか日時を聞いたり伝えられる。

VERSANT S&Wチャレンジ ライティングテストのポイント

全体的にハイレベル、特に「文章理解」が高い

- ・総合スコア平均は52.5点。日本人平均の47点を大きく上回る！
- ・「文章理解」は54.3点、日本人平均より6点以上も高い
- ・「文法」「語彙」も52点台で、得意な受験者が多い
- ・「タイピングの正確性」は、ほぼ日本人平均の88.9%

総合スコア・スキル別スコア



総合スコア	スキルの詳細
79～80点	ネイティブレベルのスピードで苦勞することなく、書いたり、読んだりできる。書かれた文章はあらゆる状況において適切なスタイルになっている。
69～78点	ネイティブレベルのスピードで書いたり、読んだりできる。文章は概して有効かつ明瞭だ。
58～68点	数多くの目的に対して文章を作成できる。幅広いジャンルについて書かれた文章を理解できる。
47～57点	ある程度の時間があれば、馴染みのある目的について文章を作成できる。ただ、文章には単語の間違いや不適切な表現もある。
36～46点	簡単な単語や構文を使うことができる。長くて複雑な文章はなかなか理解できない。基本的な情報を文章で伝えることができる。
26～35点	よく使われる簡単な言葉や構文を理解できる。短くてシンプルな文を書くことができる。
20～25点	英文の作成や理解については非常に限られたスキルしかない。

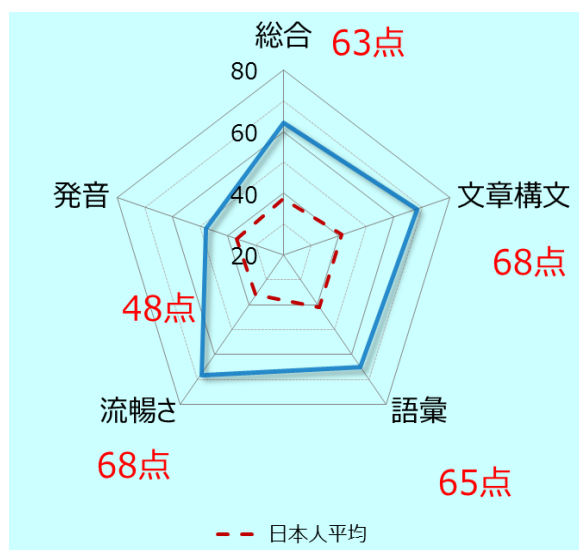
VERSANT S&Wチャレンジ スコアチャート分析

合計スコアのトップは関西の私立大学生

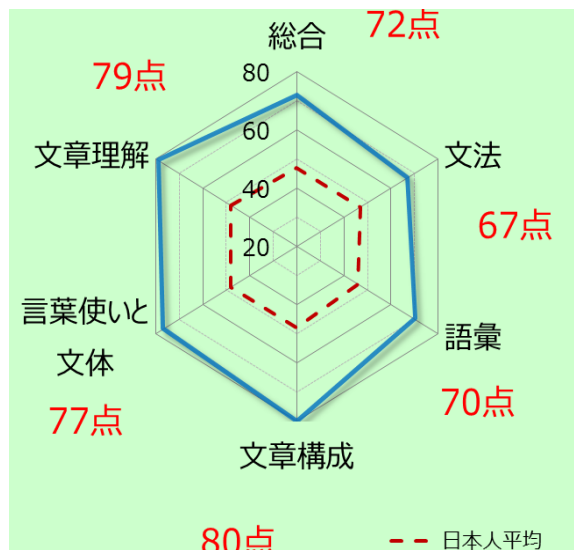
- ・学生Aさんが首位。スピーキングスコアは63点、ライティングスコアは72点
- ・ライティングは最上級者レベル。スピーキングの「発音」の強化でネイティブレベルに

S&Wチャレンジのレポートでは2つのテストと、TOEICスコアの相関関係をご理解いただくために代表的な受験者の方のスコアをチャートで分析します。それにより、スピーキング力とライティング力という英語をビジネスなどの場で実践的に使うためのスキルをどのように把握できるのかが分かります。もちろん、いずれも「英語ができる」とされる方ですが、これから注力すべきスキルが何かも分かります。

私立大学Aさんのスピーキングスコア



私立大学Aさんのライティングスコア



現段階でS&Wの2つのテストの総合スコアの合計がトップなのは関西の私立大学のAさんです。スピーキングテストの総合スコアは63点、ライティングの総合スコアは72点です。日本経済新聞社がこのほどまとめた約3500人のデータを分析した「2018年度レポート」によれば、スピーキングテストで総合スコア63点は全体のほぼ上位5%以内に入る実力です。しかも、Aさんはライティングの実力も際立っています。ライティングの総合スコアは72点で、日本人平均を25点も上回ります。総合スコアで68点以上は「ネイティブレベルのスピードで読んだり、書いたりできる」レベルです。ただAさんのスピーキングのスキルでは唯一「発音」が48点と相対的に低いことが分かります。「発音」の日本人平均は37点であり、Aさんは相当高いことが分かります。それでもAさんは十分にネイティブと互角に渡り合えるグローバル人材候補です。今後「発音」に磨きをかければ、さらに英語を使い活躍できるはずです。

VERSANT S&Wチャレンジ スコアチャート分析

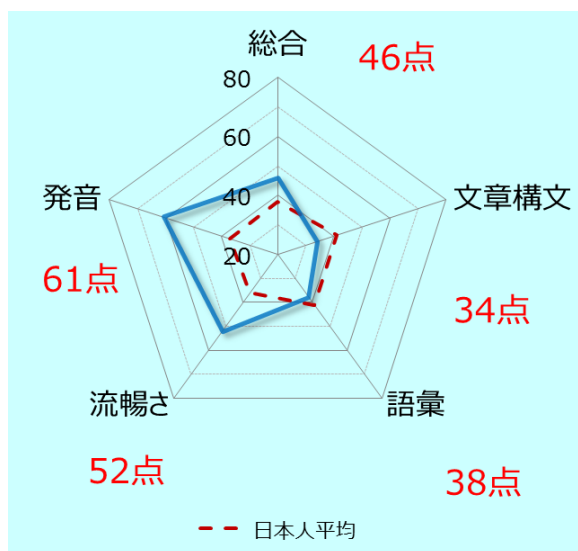
スピーキングスコアが高いと、ライティングにも強い

- ・上位受験者はスピーキングスコア、ライティングスコアともに高い傾向
- ・日本人が苦手な「流暢さ」「発音」のスコアが高い受験者も

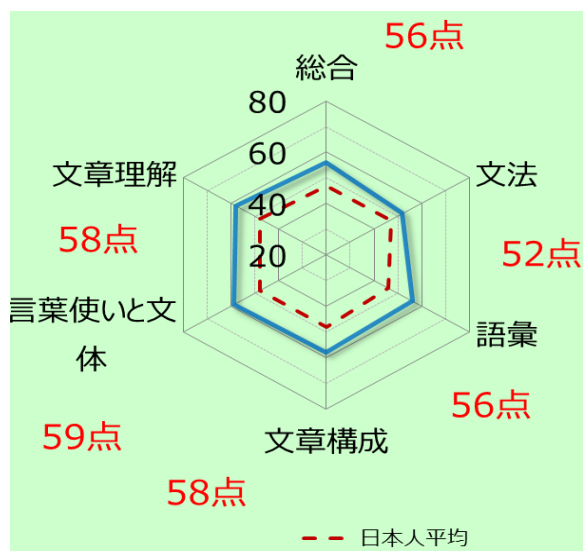
受験者のスコア

	TOEIC	スピーキングスコア					ライティングスコア							
		総合	文章構文	語彙	流暢さ	発音	総合	文法	語彙	文章構成	言葉使いと文体	文章理解	タイプ速度 (1分間当たりの ワード数)	タイプの 正確性 (%)
私立大学生Aさん	945	63	68	65	68	48	72	67	70	80	77	79	51	100
金融大手Bさん	915	51	56	51	50	44	52	52	54	52	55	45	29	81
金融大手Cさん		46	34	38	52	61	50	48	54	54	49	46	26	86
IT大手Dさん	815	45	42	52	44	44	56	52	56	58	59	58	39	91
製造業大手Eさん	750	43	45	46	41	39	45	47	45	41	49	43	20	95
金融大手Fさん	690	40	47	48	32	31	51	51	48	58	57	47	26	96

金融大手Cさんのスピーキングスコア



IT大手Dさんのライティングスコア



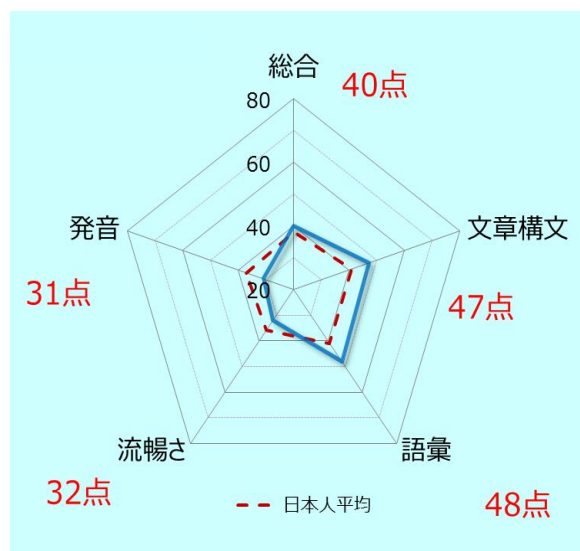
金融大手Bさんはスコアリストを見てもらえば分かるように、バランスが優れています。スピーキングの総合スコアで13点も日本人平均を上回り、ライティングのスコアも高いレベルにあります。金融大手Cさんはスピーキングテストで日本人が苦手とする「流暢さ」「発音」のスコアが非常に高いことが分かります。「発音」で61点というのは、日本人ではかなり少ないレベルです。また、IT大手のDさんはライティングテストの指標がいずれも高く、バランスがとれています。

VERSANT S&Wチャレンジ スコアチャート分析

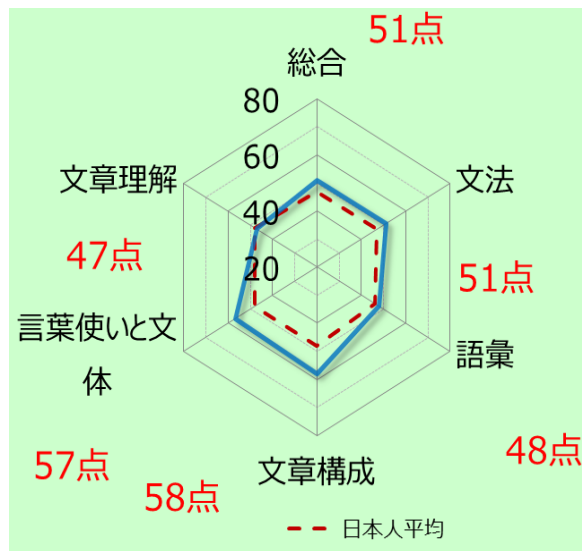
総合的な英語コミュニケーション力を把握できるVERSANT

- ・苦手なスピーキングを、得意なライティングでカバーしているケースも
- ・何が得意で、何が苦手か、傾向と対策も含め英語力の現状把握にVERSANTを

金融大手Fさんのスピーキングスコア



金融大手Fさんのライティングスコア



金融大手のFさんですが、スピーキングテストでは「流暢さ」「発音」のスコアが日本人平均を下回り苦戦されていますが、リスニング力を示す「語彙」や構文作成力の「文章構成」はいずれも日本人平均を大幅に上回っています。スピーキング力の強化に取り組めば、比較的短時間でスキルを高められます。何よりもライティングのスキルは高いです。「文章構成」「言葉使いと文体」はそれぞれ58点、57点と日本人平均を10点程度も高いことが素晴らしいです。タイピングの正確性も96%と高いスキルを持っています。

このようにVERSANTではS&Wで2つのテストを受けて頂くことで、総合的な英語コミュニケーション力を把握できるのです。

日本経済新聞社では6月2日まで「S&Wチャレンジ」キャンペーンでの応募を受け付けています。ぜひこの機会に世界標準の英語テストに挑戦してください。テストの受験期間は6月末までです。これからもテストの受験データなどについて情報発信を続けてまいります。